

# フィリピン・ナボタス市衛生埋立施設における火災事案

岩田主任研究官が「フィリピン・ナボタス市衛生埋立施設における火災事案に対する国際緊急援助隊専門家チーム」として、フィリピンに派遣されました。派遣期間は4月23日から4月30日まででした。

3月26日にフィリピン・マニラ湾上に造成されたナボタス市衛生埋立施設において、火災が発生し、煙による有害物質が当該地域の住民と周辺コミュニティに深刻な影響をもたらしました。

4月22日、日本政府は、フィリピン政府からの支援要請を受け、消火活動、環境影響測定・評価及び廃棄物管理に関する技術的助言を行う国際緊急援助隊専門家チームを派遣することを決定しました。

専門家チームは、在フィリピン日本国大使館、消防庁、国立環境研究所、独立行政法人国際協力機構の職員計7名で構成され、フィリピンにおいて被害状況の調査を実施するとともに、鎮火に向けた消火活動、環境影響測定・評価及び廃棄物管理に関する助言を行いました。



重機を用いた消火活動を見分する  
岩田主任研究官（写真右：JICA提供）



ナボタス市衛生埋立施設における火災の状況を視察する  
岩田主任研究官（写真右：JICA提供）

(参考)

- (1) 外務省HP:「フィリピン・ナボタス市衛生埋立施設における火災事案に対する国際緊急援助隊・専門家チームの派遣」, 令和8年4月22日
- (2) 独立行政法人国際協力機構HP:「フィリピン共和国ナボタス市衛生埋立施設における火災事案に対する国際緊急援助隊専門家チームの派遣について」, 令和8年4月22日
- (3) 独立行政法人国際協力機構HP:「フィリピン共和国ナボタス市衛生埋立施設における火災事案に対する国際緊急援助隊専門家チームの派遣について（出発報告）」, 令和8年4月23日